

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年11月21日

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）											
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	弘前市											
計画の目標	浸水対策事業の計画策定を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 上下水道耐震化計画に基づき、急所施設や重要施設に接続する下水道管渠等の耐震化を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	940	A	930	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	1.06 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(R6当初)	(R8末)	(R10末)
1	内水ハザードマップの作成・公表により、浸水が想定される区域において、浸水区域及び避難場所の認知割合を0% (R6当初) から100% (R10末) に向上させる。	浸水想定区域内の人が浸水区域及び避難場所を認知している割合 浸水区域及び避難場所の認知人口 / 浸水想定区域人口 × 100	0%	90%	100%		
2	上下水道耐震化計画に基づき耐震化を要する管渠のうち、地震時にも下水道としての機能が確保できている割合を9% (R6当初) から12% (R10末) に増加させる。	上下水道耐震化計画に基づき耐震化を要する管渠のうち、地震時にも下水道としての機能が確保できている割合 機能確保済みの管渠延長 / 機能確保すべき管渠延長	9%	11%	12%		

備考等	個別施設計画を含む <input type="checkbox"/>	国土強靭化を含む <input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む <input type="checkbox"/>	- 連携中枢都市圏を含む <input type="checkbox"/>	- 流域水循環計画を含む <input type="checkbox"/>	- 地域再生計画を含む <input type="checkbox"/>
-----	------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R06	R07	R08	R09	R10		
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(雨水)	-	内水浸水解析	内水ハザードマップ・内水浸水想定区域図の作成 A=4,325ha	弘前市	■					26	-	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																	
	A07-002	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(雨水)	-	雨水浸水対策	雨水管理総合計画の策定 A=4,325ha	弘前市				■		39	未策定	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																	
	A07-003	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(污水)	改築	弘前処理区(管路施設)	管渠更生 L=1,627m 管口耐震化 N=37箇所	弘前市	■	■	■	■	■	720	策定済	
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-004	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(污水)	改築	管路施設の耐震診断・設計等	耐震診断(簡易) A=3,542ha 耐震診断(詳細) 詳細設計等	弘前市	■	■	■	■	■	145	策定済	
		下水道総合地震対策事業																	
												小計						930	
												合計						930	

C 効果促進事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
									R06	R07	R08	R09	R10						
		一體的に実施することにより期待される効果											備考						
水道・下水道事業	C07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠(雨水)	-	内水浸水解析	内水ハザードマップ印刷製本及び配布	弘前市	■					10	-	
		内水ハザードマップを印刷製本し、住民に配布することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る																10	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																10	
													小計					10	
																		10	
													合計					10	
																		10	
																		10	
																		10	
																		10	
																		10	
																		10	
																		10	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	13				
計画別流用増△ 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	13				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	13				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 弘前市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）

事 前 評 値	チェック欄
I . 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 1) 上位計画等との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I . 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と事業範囲との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II . 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業遂行の環境 1) 持続可能な下水道事業を執行するための体制が整備されている。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業遂行の環境 2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
III . 計画の実現可能性 ⑥地元の機運 1) 作成した内水ハザードマップ等を市民へ周知する。	<input type="radio"/>

(参考様式) 参考図面

